

令和7年度
校長だより

あかつき 9月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～

丹波市立新井小学校 校長 荻野由香里

今年の夏はこれまでに経験がないような暑い日が多く、厳しい残暑も続いています。けれども、朝方は気温が下がったり、夕暮れが早くなったりする様子を見ると、少しずつ季節の移り変わりを感じます。地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の学校教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、44日間という長い夏休みが終わり2学期がスタートしました。元気な子どもたちの声が校舎に響き、活気のある学校が戻ってきました。少し背が伸びてたくましくなった子どもたちに久しぶりに出会い、生き生きとした姿が見られることが大変嬉しいです。9月1日の始業式では、次のような話をしました。

今年の8月15日で終戦80年を迎えることもあり、多くのメディアが戦争に関する情報を伝えていました。また、春日歴史民俗資料館では、「戦後80年 銃後の丹波 兵士の戦場」という企画展がありました。その展示物を見ると、丹波も戦争の影響を大きく受けており、厳しい生活だったことが想像できました。また、戦場に行かなければならなかった方やご家族は、どんな思いだったのかと考えました。国全体が戦争に向かう中、個人の思いを表に出すことは難しかっただろうとも思いました。友だちと遊んだり、家族でご飯を食べたり、ゆっくり眠ったりすることができなかった時代を思うと、今の平和を継続していくことの大切さを実感するとともに、やる気さえあれば自分のやりたいことが自由にできる時代なのだから、いろいろなことにチャレンジしないともったいないと思いました。子どもたちには、私がこの夏に感じたそんな思いを伝えました。そして、2学期にあるたくさんの行事を成功させるためには、練習をすることはもちろんだけど、どんどんチャレンジして、失敗もして、失敗したときにはその倍の応援をしよう！と話しました。

2学期も、新井っ子みんなで力を合わせて、さまざまな行事をやり切り、力を伸ばしてくれることを願っています。私たち教職員も新井っ子たちの「にこ・はき・どん」の姿がたくさん輝くよう、全力で支援していきます！

夏休みに新しい総合遊具が設置されました。
カラフルな楽しい遊具で大人気です！

